

ひかり

2022年1・2月号

第700号



Lent

日本聖公会 三光教会

〒142-0064 東京都品川区旗の台 6-22-24

電話 03(3781)2554

FAX 03(3781)2544

<http://nssk.org/tokyo/church/sanko/stephen/>

創立 救主降誕 1912年(大正元年)11月2日

「与えなさい。そういえば、自分にも与えられる。
人々は升に詰め込み、揺すり、溢れるほどによく量つて、懷に入れてくれる。あなたがたは、自分の量る秤で量り返されるからである。」

(ルカによる福音書 6:38)

また対面の時を

待ち望みながら

司祭 アモス金 キム 大原 デウオン

今年は聖堂の横にあるナツミカンが見事に実りました。まもなく収穫してマーレードを作る時期になりました。感染症の拡大防止への協力というところでいろいろなことを遠慮してきたものですから、今度は実現できるかまだ分かりませんが、何はともあれ実りを得ることは感謝であり喜びであります。

皆さまは日々を感謝と喜びの中で過ごしているでしょうか。聖書のコヘレトには「神がその心に喜びをもつて応えてくれるから、人は人生の日々をあまり思い返す必要はない」(コヘ5:19)とあるのに、わたしたちはまるで心配や憂いが自分の召命かのように思っている。日常に振り回されてその小さくて微妙な変化に気づくことができず、感動を忘れて過ごしているのかもしれない。良く生きることは「今」を大切にして思う

存分楽しむことではないでしょうか。コロナウイルス感染者数は過去最多を更新しつづけ、緊張がとけない毎日ではありますが、にもかかわらずそのような日々も大切なのは変わらないものです。もちろん世の中は大変なのにニコニコ笑ってばかりはいけません。でも、たまには肩を押さえてつける日常の重荷を下して笑ってほしいと思います。

イエス・キリストは日々緊張の中で過ごしている人々に「空の鳥を見なさい。野の花がどのように育つのか、よく学びなさい」(マタ6:26、28)と言われました。神さまはいろいろなことで悩み、恐れているアブラハムを外に連れ出して「天を見上げて、星を数えることができるなら、数えてみなさい」(創15:5)と言われました。この「見る、見上げる」ことは、日常の中に神の息吹が吹き込む通路ではないかと思えます。あるラビが弟子たちに「暗き夜の過ぎ去りと明るい朝の訪れがどうやって分かるか」と聞きました。弟子の一人が「あの遠くにいる獣が羊なのか犬なのか区別できる時」と答えると、ラビは首を横に振りました。他の弟子が「遠くにある

木がイチジクの木なのか桃の木なのかが区別できる時」と言うのと、今度も首を横に振りました。弟子たちが師匠の考えを伺うと、ラビは「ある人の顔を見て、その中から兄弟や姉妹の顔が見える時である。そうでない限り、まだまだ夜なのだ」と言いました。兄弟姉妹なら警戒心なんか持たないで安心して頼れるように、異なる考えや主張を認め、人々の足りないところと弱いところを温かく見守ることという意味でしょう。

時には政府の生半可な対応が恨めしいこともあります。国民全員の生活まで責任を担わなければならない政府としては、なかなか踏み切りがつかないだろうとも思われます。長い間願っていた「日常の回復」という言葉が、わたしたちの直面している現実を如実に表しています。わたしたちもまた対面の日を準備しなければなりません。客を迎えるため、庭を掃き、家中を掃除する人のように、ときめく心でその日に備えていきたいと思えます。皆さまの心と身体のご健康を、またこの待ち望みの時間が長くないようにと願います。

◆ 2月	2日(水)	被献日	◆ 3月	1日(火)	主教デイビッド
3日(木)	ヨーロッパの殉教者	2日(水)	2日(水)	大斎始日(灰の水曜日)	
5日(土)	日本の殉教者	3日(木)	6日(日)	大斎節第1主日	
6日(日)	顕現後第5主日	4日(金)	7日(月)	3月逝去者記念礼拝	
7日(月)	2月逝去者記念礼拝	5日(土)	9日(水)	殉教者バベチアと仲間たち	
11日(金)	日本聖公会組織成立記念日	6日(日)	11日(金)	春期聖職按手節	
13日(日)	顕現後第6主日	7日(月)	12日(土)	主教会博士グレゴリー	
20日(日)	顕現後第7主日	8日(火)	13日(日)	春期聖職按手節	
23日(水)	殉教者主教ポリカール	9日(水)	17日(木)	大斎節第2主日	
24日(木)	使徒聖マッテヤ日	10日(木)	18日(金)	主教バトリック	
27日(日)	大斎節前主日	11日(金)	19日(土)	主教会博士エルサレムのシリル	
		12日(土)	20日(日)	大斎節第3主日	
		13日(日)		◆ 復活日	
		14日(月)		4月17日(日)	

公 示

日本聖公会法規第138条の規定に従い、日本聖公会東京教区 三光教会（定期）堅信受領者総会を下記のように召集します。

しかし、新型コロナウイルス（変異株）禍の中、1月の教会委員会で今年も聖堂に集まり堅信受領者総会を開催することは難しいと判断し（開催日が確定できない、3密の回避）、書面（郵送）による堅信受領者総会を開催することと致しました。

書面による議決を実施するにあたり本日、議案を同封します。

なお、本公示は、2022年度教会委員選挙の選挙人（現在堅信受領者）の方々にお知らせしております。

2022年2月19日

日本聖公会 東京教区 三光教会
牧師 司祭 アモス金 大原

記

日時： 2022年4月3日(日) 大斎節第5主日 13時

場所： 書面による議決

- 議題： 議案1. 2021年度 教務報告 承認の件
議案2. 2021年度 活動報告 承認の件
議案3. 2021年度 会計決算報告・会計監査報告 承認の件
議案4. 2022年度 活動計画案 承認の件
議案5. 2022年度 会計予算案 承認の件
議案6. 推薦による教会委員の決定 承認の件

教会のお掃除にご協力を

聖堂内外のお掃除の協力者が少なくなりました。土曜日の午前10時から1時間程ご奉仕ください。ご協力いただける方は直接参加してください。

はじめて教会にいらした方へ

礼拝様式に馴れない方は椅子にお掛けになったままで結構です。

- 礼拝中の献金は、信施金として伝道のために献げられるものです。金額は自由です。
- わからない点は隣の席の者か案内係にお聞きください。

礼拝のご案内

■主日礼拝

- 午前 7:00 早祷・嘆願
午前 7:30 聖餐式
午前 9:00 ステパノ会
(日曜学校)礼拝
午前 10:30 聖餐式
午後 4:00 夕の礼拝

■平日礼拝

月曜日から土曜日までは、毎朝 6:30 の早祷に引き続いて聖餐式